

平成 26 年(2014 年) 3 月 25 日
子ども・子育て支援審議会資料
こども部子育て支援室

吹田市子ども・子育て支援事業計画作成の ためのニーズ調査集計結果の概要について

I. 調査概要

1 調査設計

1. 調査地域 吹田市全域
2. 調査対象 ①市内在住の 0 歳～5 歳までの就学前児童の保護者
②市内在住の小学 1 年生～6 年生の児童の保護者
3. 標本数 6,000 名 (内訳: ①3,000 名、②3,000 名)
4. 抽出方法 住民基本台帳に基づく層化抽出
5. 調査方法 郵送による配付及び回収による調査
6. 調査期間 平成 25 年 12 月 2 日(月)～平成 25 年 12 月 20 日(金)
(平成 26 年 2 月 3 日(月)到着分まで集計)

2 回収結果

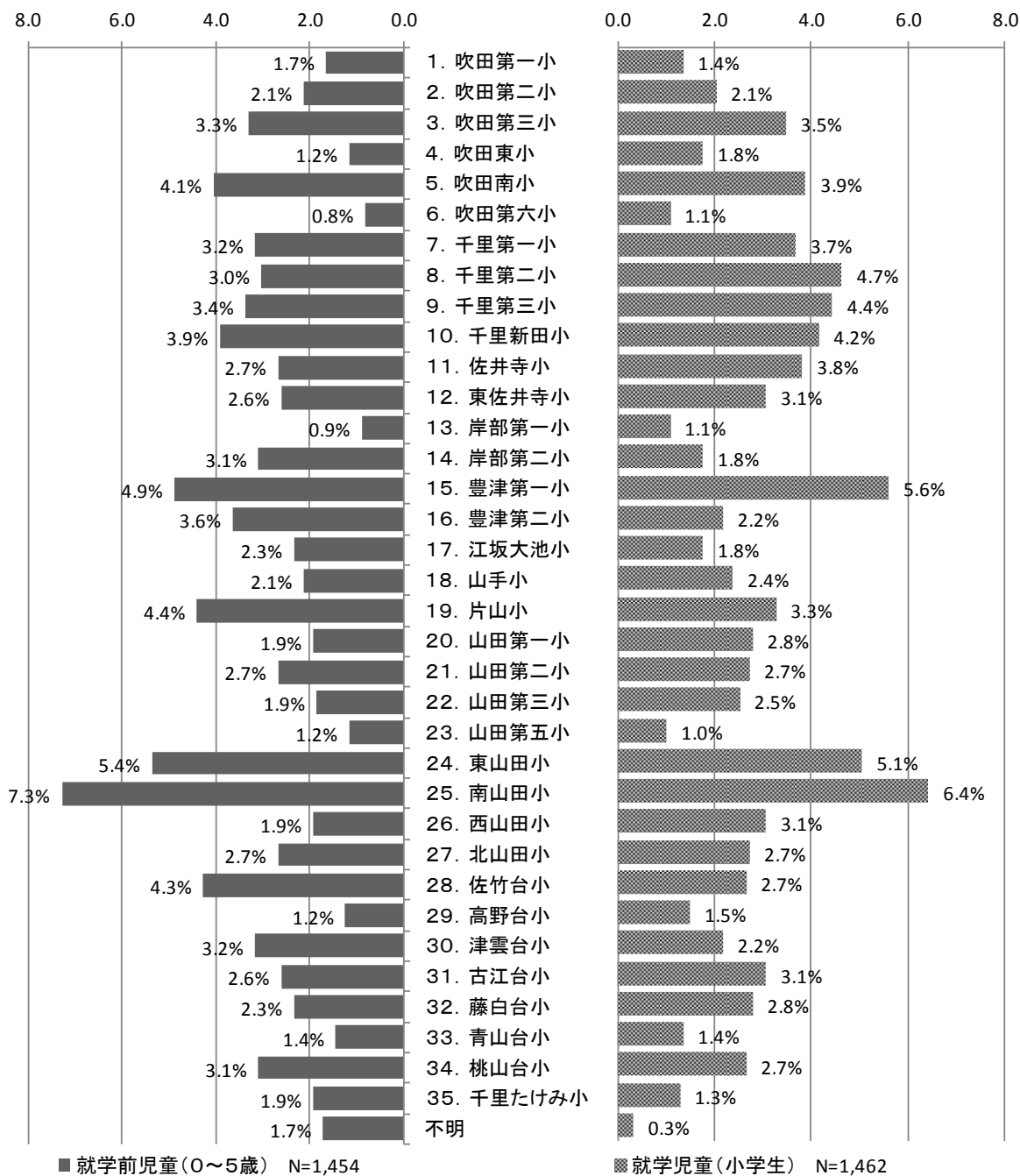
	配布数	回収数	回収率
就学前児童(0歳～5歳)	3,000	1,454	48.5%
就学児童(小学生)	3,000	1,462	48.7%
合計	6,000	2,916	48.6%

3 報告書の見方

1. 集計結果は、すべて小数点以下第二位を四捨五入しており、比率の合計が 100%とならないことがある。
2. 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100%を超える。
3. 回答比率(%)は、その質問の回答者数(N=母集団)として算出した。
4. 設問に対し無回答や記入の判別ができないものは「不明」とした。

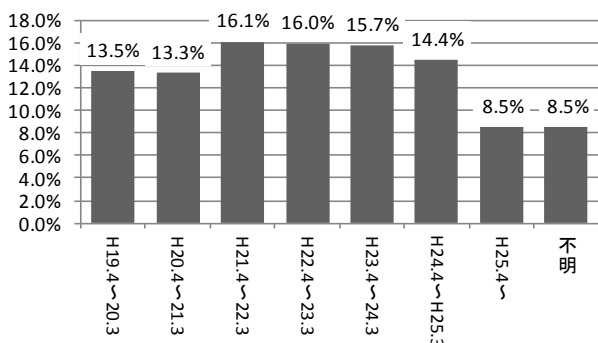
II. 集計結果

1. 小学校区

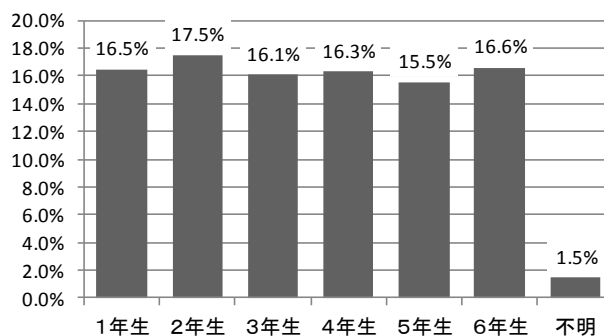


2. 年齢・学年

■ 就学前児童(0～5歳) N=1,454



■ 就学児童(小学生) N=1,462



◆年齢ごと(学年ごと)で回答数に大きな差はない。

3. 保護者の就労状況

就学前児童 N=1,454	父親				
	フルタイム	パート・ アルバイトなど	無業	不明	
母親	フルタイム	23.5%	0.3%	0.1%	1.7%
	パート・ アルバイトなど	16.4%	0.2%	0.1%	1.2%
	無業	53.7%	0.2%	0.4%	1.0%
	不明	0.9%	0.0%	0.0%	0.3%

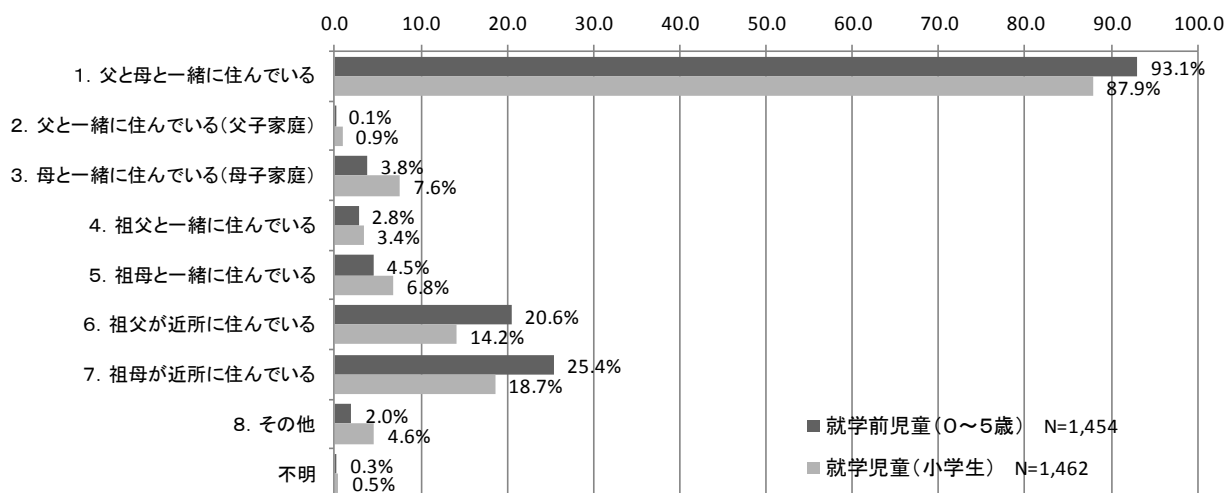
就学児童(小学生) N=1,462	父親				
	フルタイム	パート・ アルバイトなど	無業	不明	
母親	フルタイム	17.0%	0.5%	0.2%	4.0%
	パート・ アルバイトなど	38.3%	0.3%	0.3%	4.4%
	無業	30.2%	0.1%	0.5%	1.6%
	不明	1.2%	0.1%	0.0%	1.2%

◆就学児童(小学生)では、就学前児童に比べ、「父親(フルタイム)×母親(パート・アルバイトなど)」が21.9ポイント高い。母親の就労が多くなっている。

4. 一緒に住んでいる人、近隣に住んでいる人

問. お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。

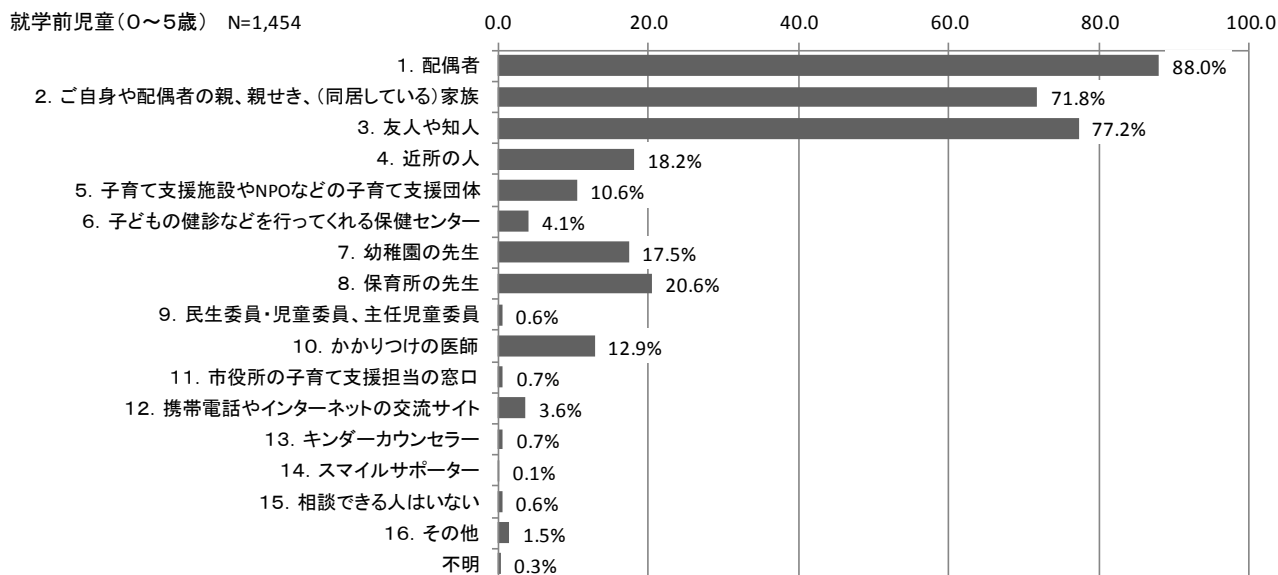
※複数回答



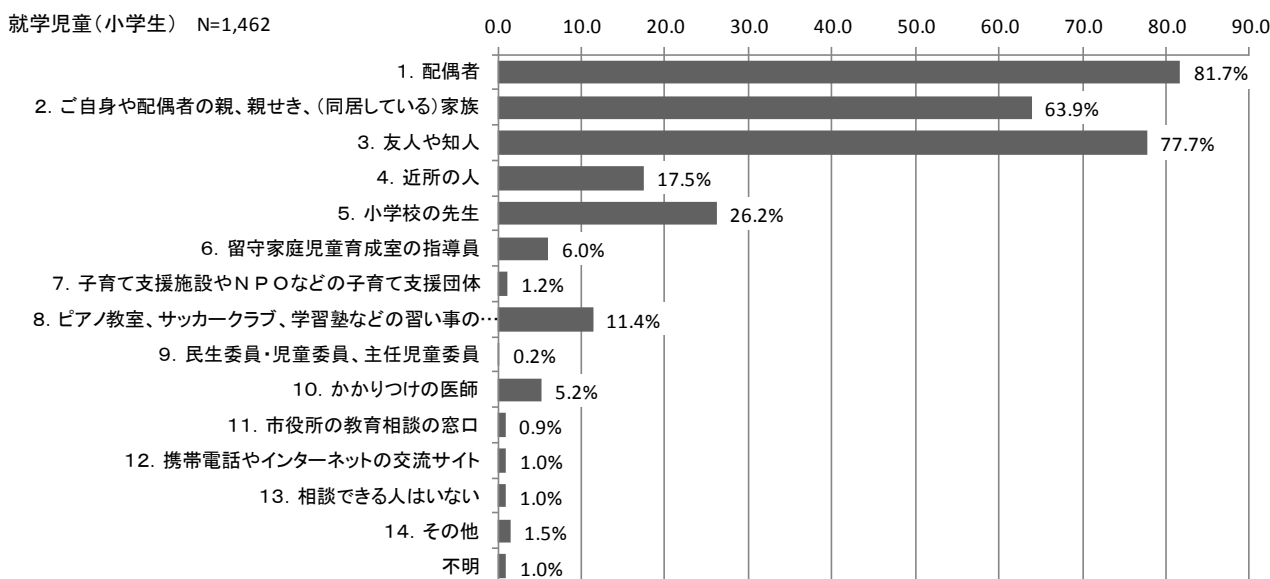
◆就学前児童、就学児童(小学生)ともに、「父と母と一緒に住んでいる」が93.1%と、87.9%で最も多くなっている。

5. 相談できる人や相談できる場所

問. お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所をお答えください。※複数回答



◆「配偶者」が、88.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が77.2%、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が71.8%となっている。



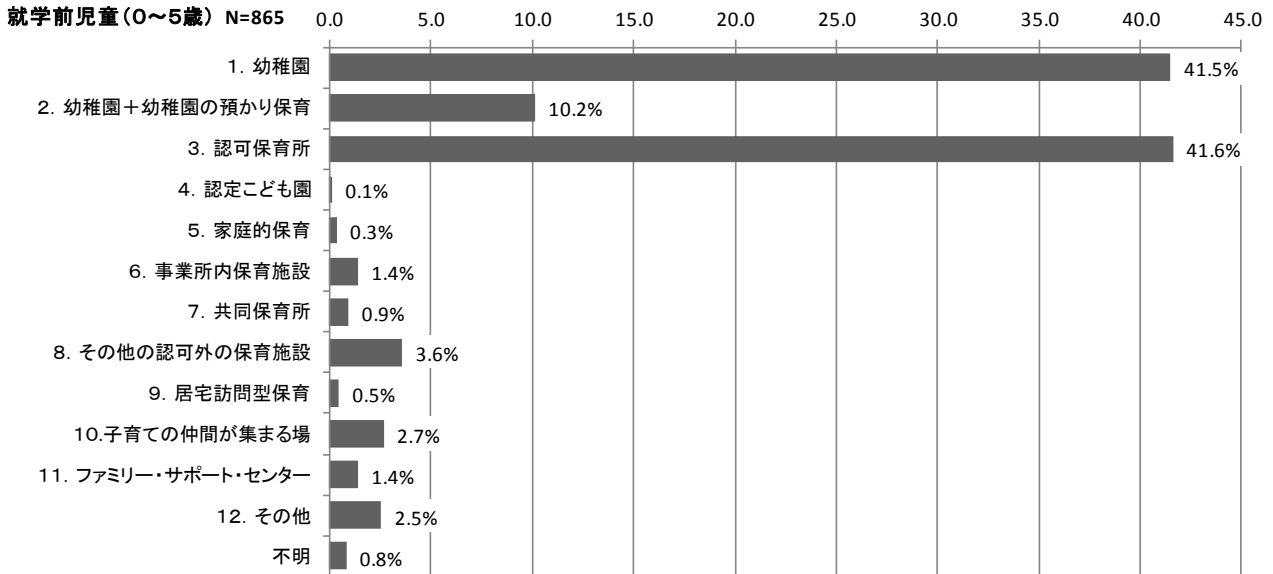
◆「配偶者」が、81.7%と最も多く、次いで「友人や知人」が77.7%、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が63.9%となっている。

◆就学前児童、就学児童(小学生)ともに、「配偶者」「友人や知人」「親、親せき」が相談できる人と回答している割合が高い。

6. 現在利用しているサービスについて

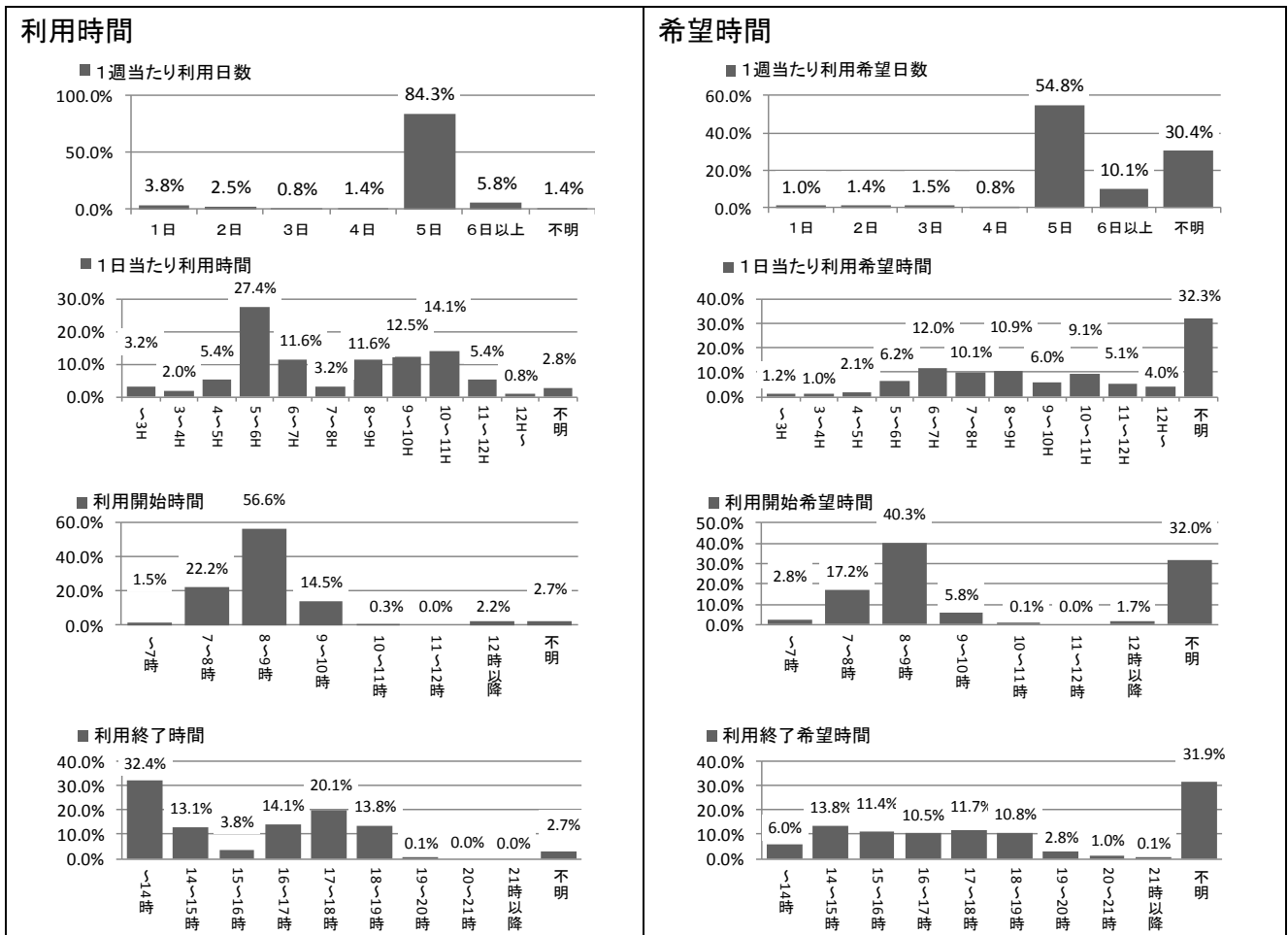
問. お子さんは現在、どのような施設やサービスを利用していますか。

※就学前児童（0～5歳）のみ、複数回答



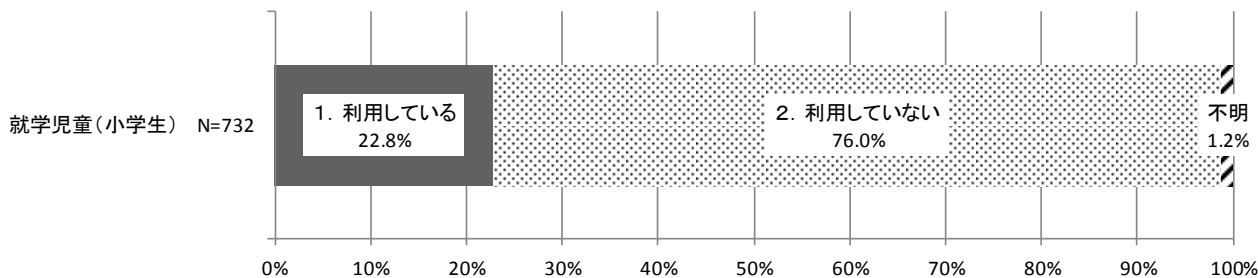
◆主なものとして、「認可保育所」が41.6%と最も多く、次に、「幼稚園」が41.5%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が10.2%となっている、

【利用時間及び希望時間】就学前児童（0～5歳） N=865



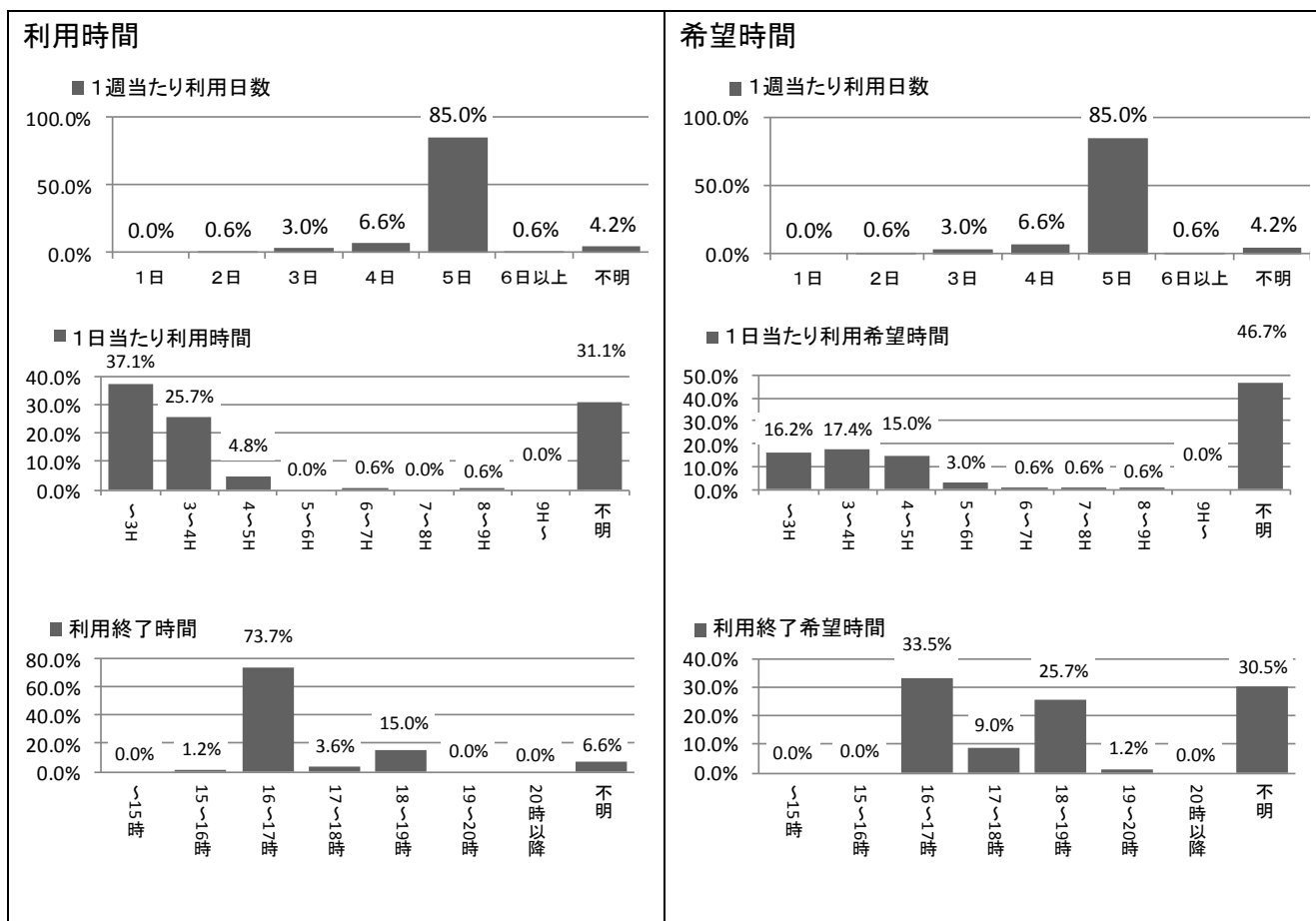
問. 現在、平日に、現在、留守家庭児童育成室を利用されていますか。

※就学児童（小学1年生～3年生）のみ



◆22.8%が留守家庭児童育成室を「利用している」となっている。

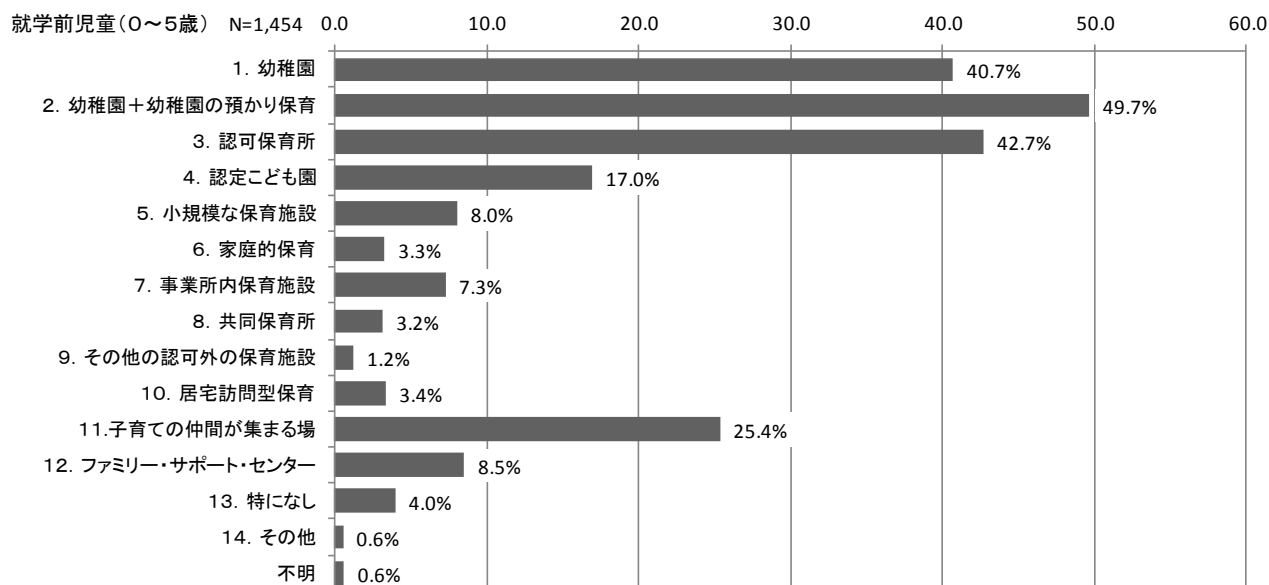
【利用時間及び希望時間】就学児童（小学1年生～3年生）N=167



7. 定期的にご利用したいサービスについて

問. 平日にお子さんに「定期的に」利用したいと考える施設やサービスはなんですか。

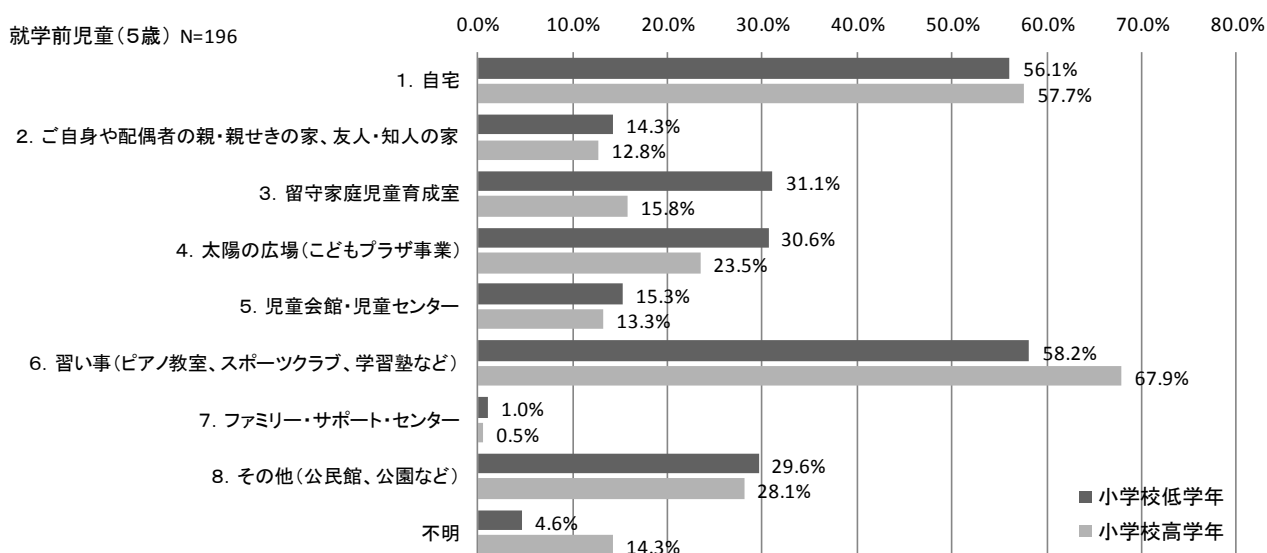
※就学前児童（0～5歳）のみ、複数回答



◆主なものとして、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が 49.7%と最も多く、次に「認可保育所」が 42.7%、「幼稚園」が 40.7%、「子育ての仲間が集まる場（子育て支援センター、子育て広場など）」が 25.4%、「認定こども園」が 17.0%の順となっている。

問. 小学生になったら、放課後どのような場所で過ごさせたいと思いますか)

※就学前児童（5歳）のみ、複数回答

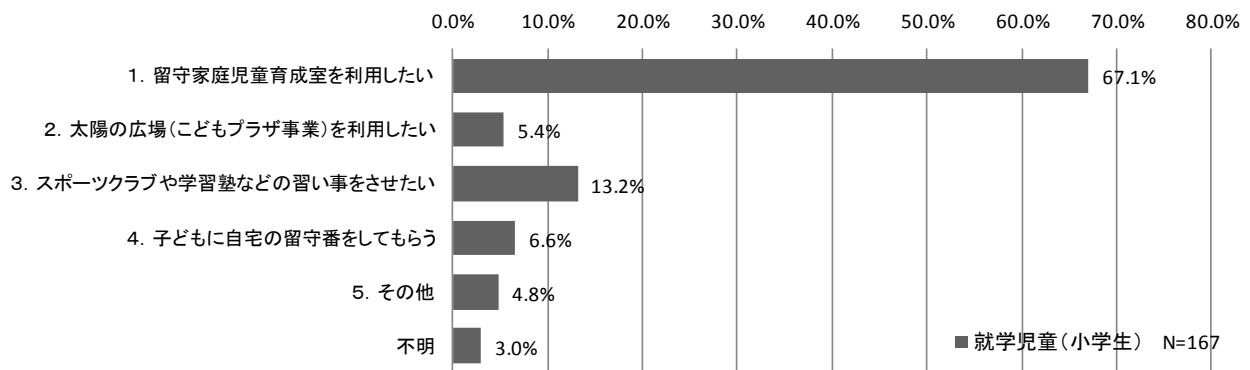


◆低学年（1～3年生）では、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 58.2%と最も多くなっている。また、「留守家庭児童育成室」は 31.1%となっている。

高学年（4～6年生）も、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 67.9%と最も多くなっている。また、「留守家庭児童育成室」は 15.8%となっている。

問. 小学4年生以降の放課後の過ごし方についてどのようなことを望みますか。

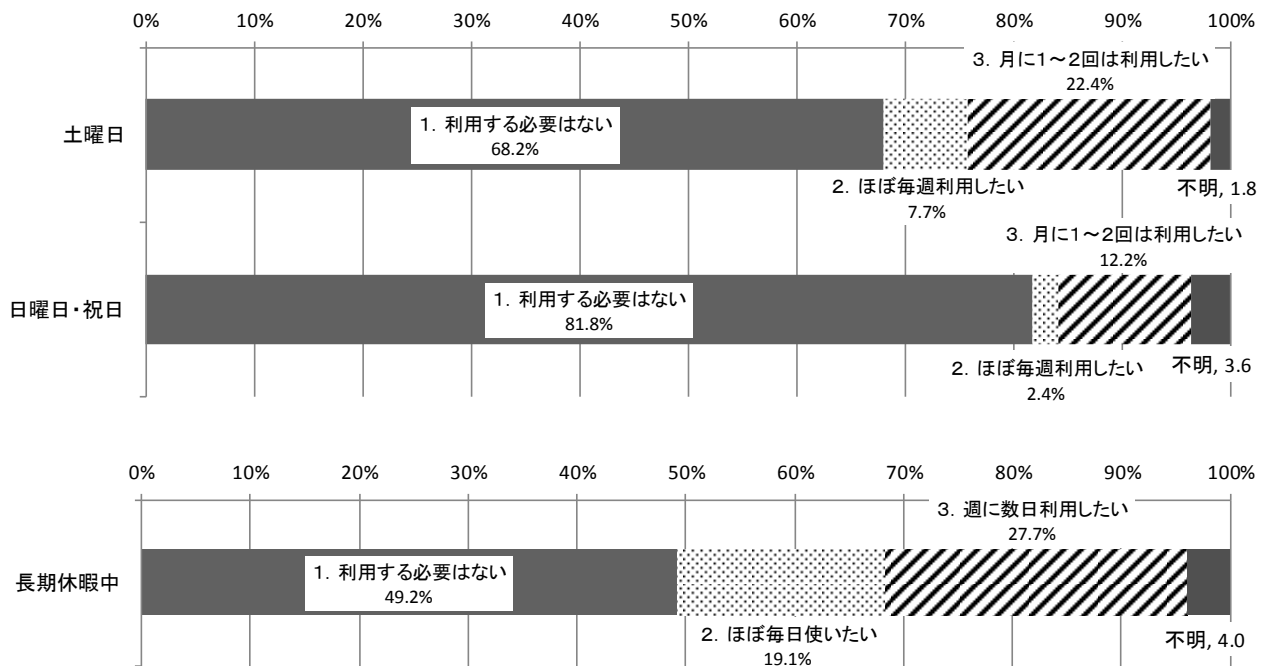
※就学児童（小学1年生～3年生、）で、留守家庭児童育成室を使用している方のみ



8. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の利用希望について ※就学前児童のみ

問. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。

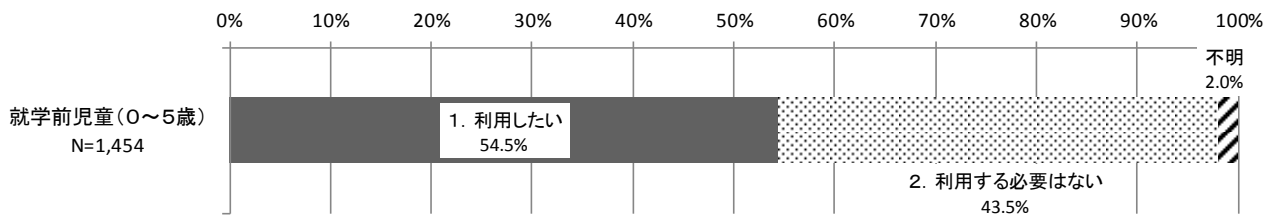
※一時利用除く



◆「利用したい」の割合はそれぞれ、土曜日は30.1%、日曜日・祝日は14.6%、長期休暇中は46.8%となっている。

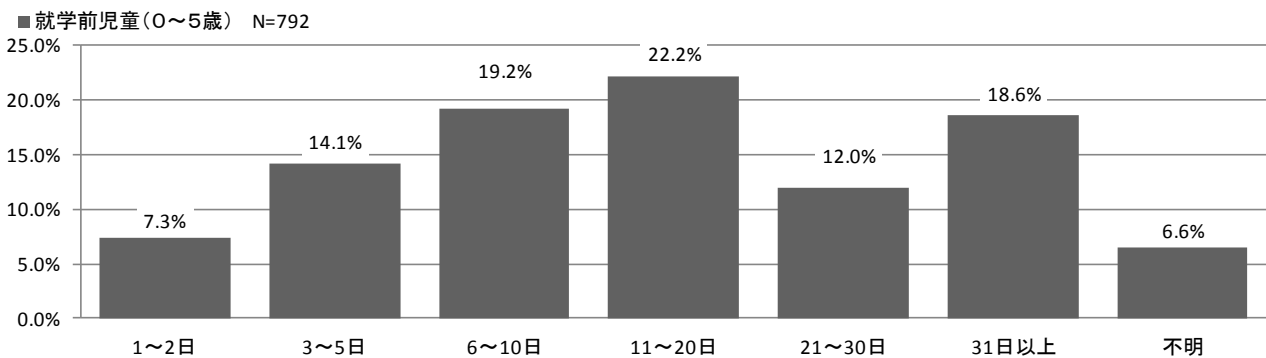
9. 一時預かりの利用希望について

問. 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として「一時預かり」を利用したいと思いますか。 ※就学前児童（0～5歳）のみ



◆「利用したい」は54.5%となっている。

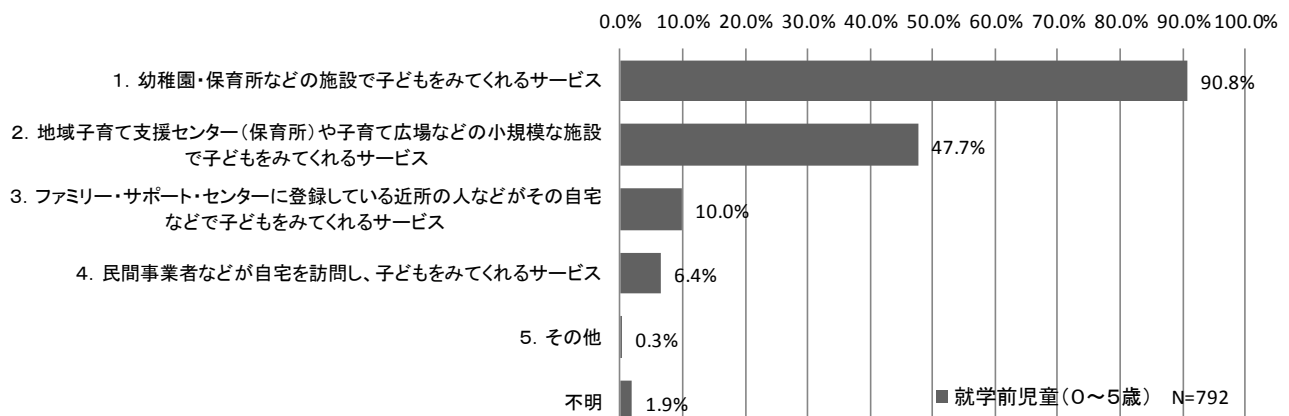
【利用したい日数】



◆「11～20日」が22.2%と最も多く、次に「6～10日」が19.2%、「31日以上」が18.6%の順となっている。

【利用したい形態】

問. 「一時預かり」を利用するにあたり、どのような子育て支援サービスが望ましいと思いますか。 ※就学前児童（0～5歳）のみ、複数回答



◆「幼稚園・保育園などの施設で子どもをみてるサービス」が90.8%と最も多く、次に「地域子育て支援センター(保育所)や子育て広場などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」が47.7%となっている。

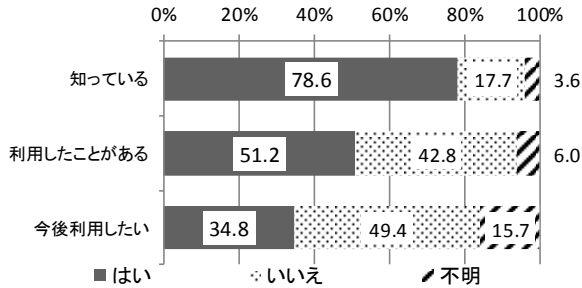
10. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問、子育て支援事業の認知度・利用度についておうかがいします。

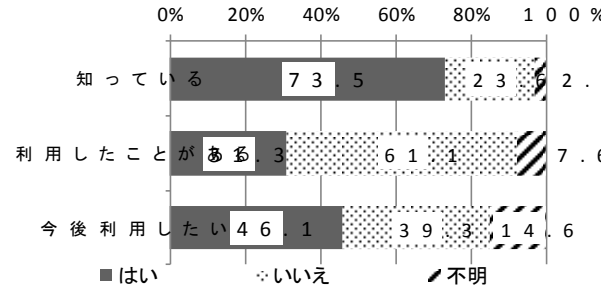
※就学前児童（0～5歳）のみ、複数回答

N=1,454

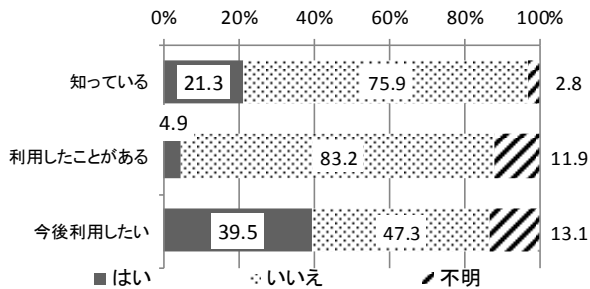
①母親・父親学級、両親教室、育児学級



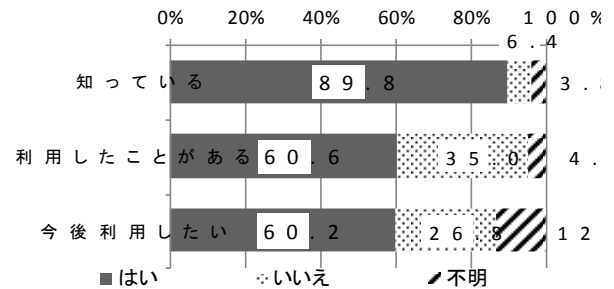
②保健センターの情報・相談サービス



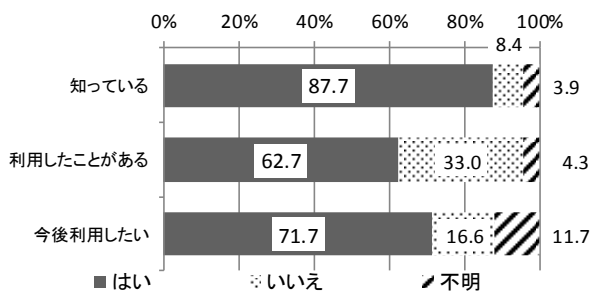
③家庭教育に関する学級・講座



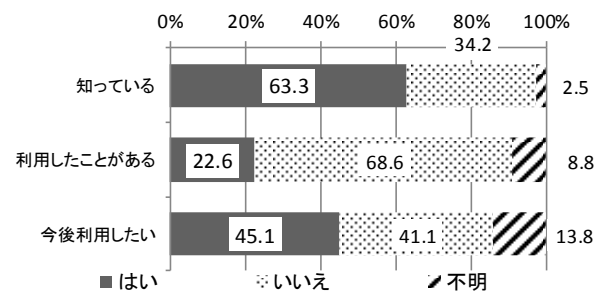
④保育所や幼稚園の園庭などの開放



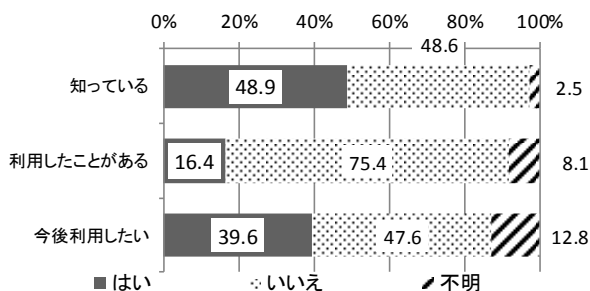
⑤児童会館・児童センター



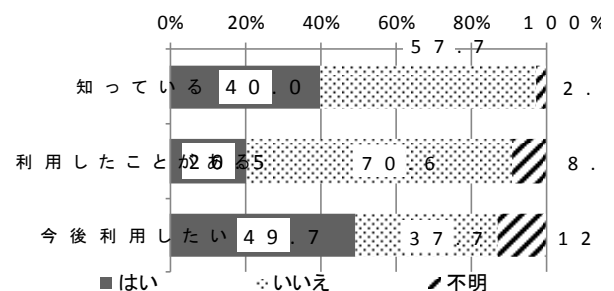
⑥子育て相談窓口



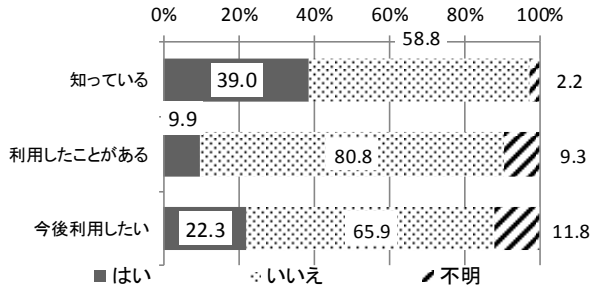
⑦のびのび子育てプラザの子育て相談



⑧吹田市ホームページ（すくすく子育てNavi）

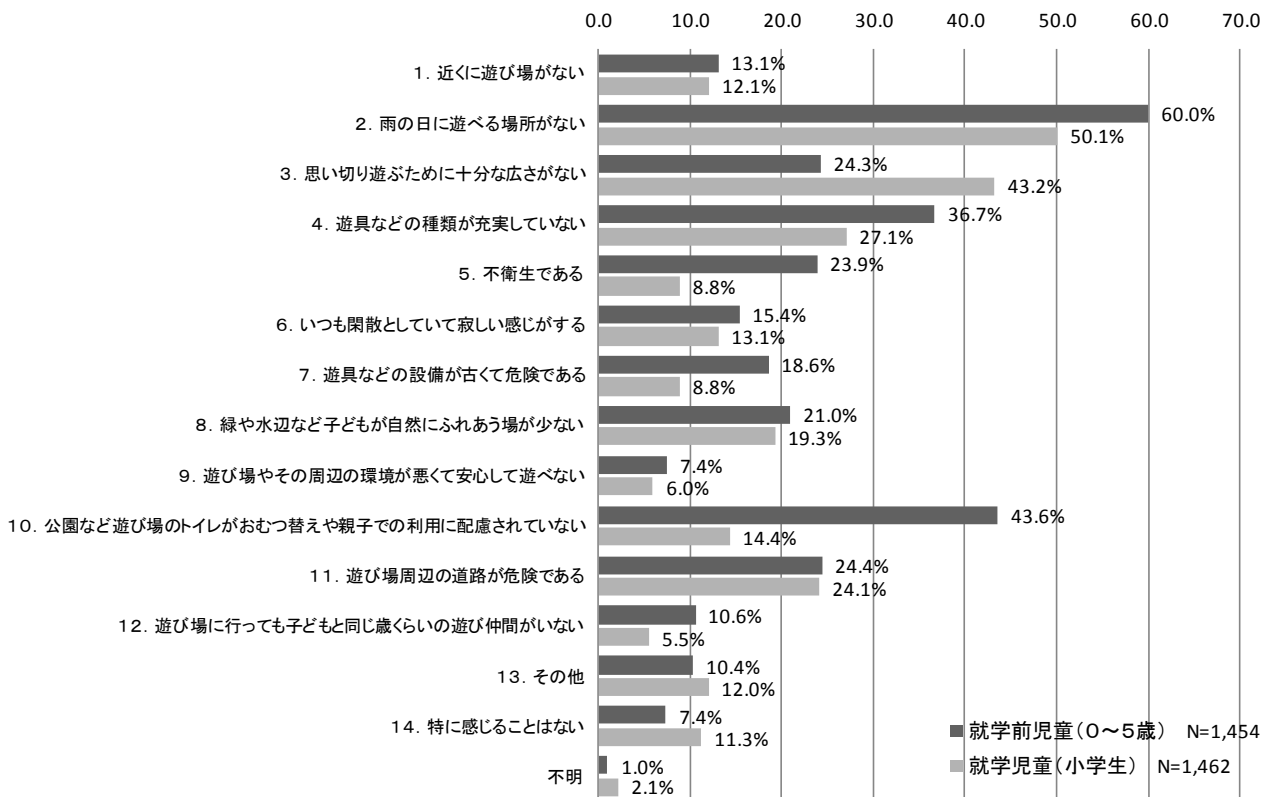


⑨ 育児支援家庭訪問事業



11. 子どもの遊び場について

問、お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。※複数回答

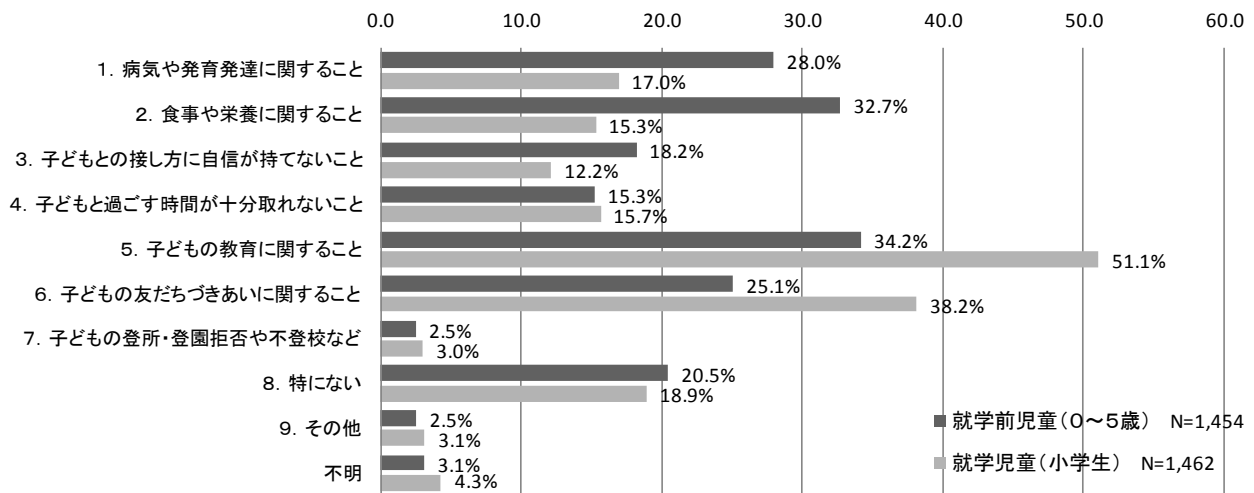


◆就学前児童（0～5歳）、就学児童（小学生）ともに、「雨の日に遊べる場所がない」が最も多くなっている。

12. 子育ての悩みなど

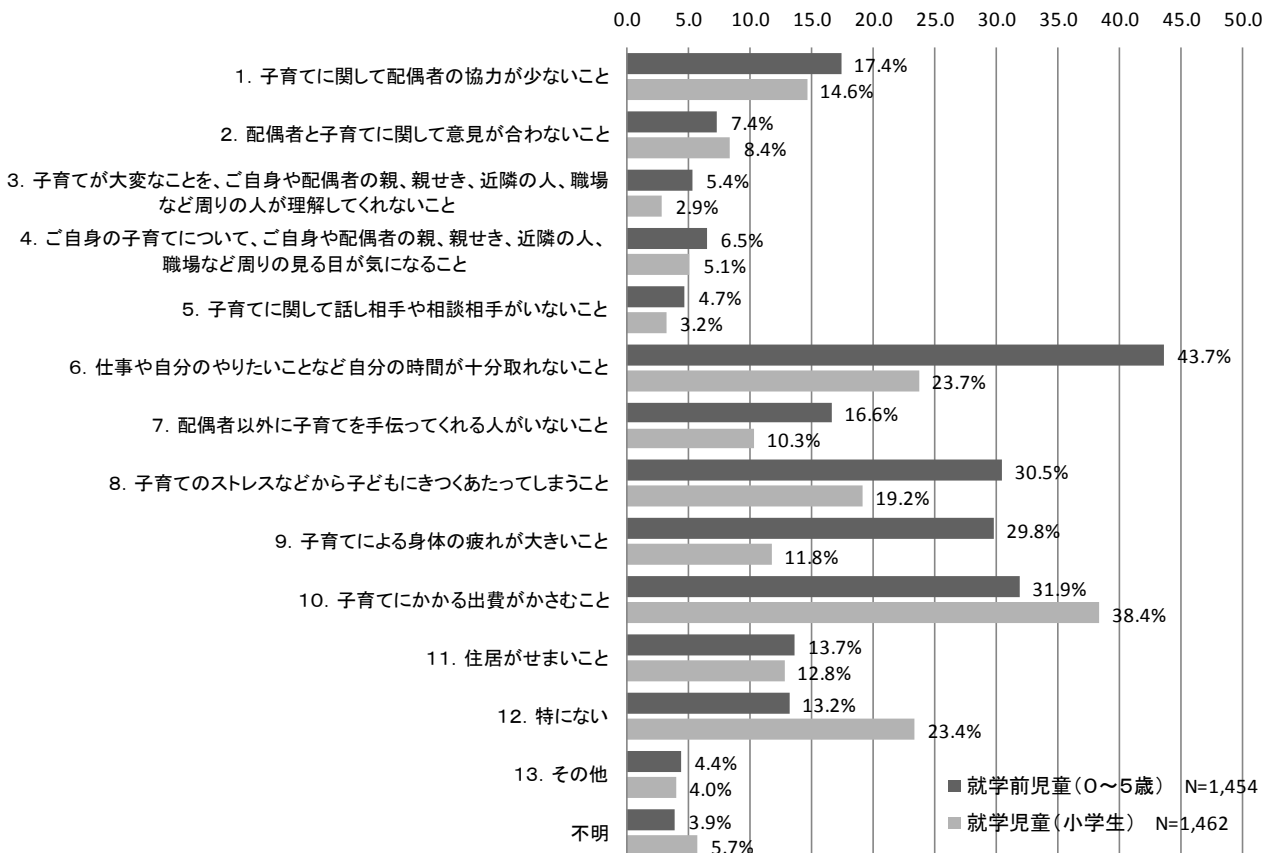
問、子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。※複数回答

(1) 子どもに関すること



◆就学前児童（0～5歳）、就学児童（小学生）ともに、「子どもの教育に関すること」が最も多くなっている。

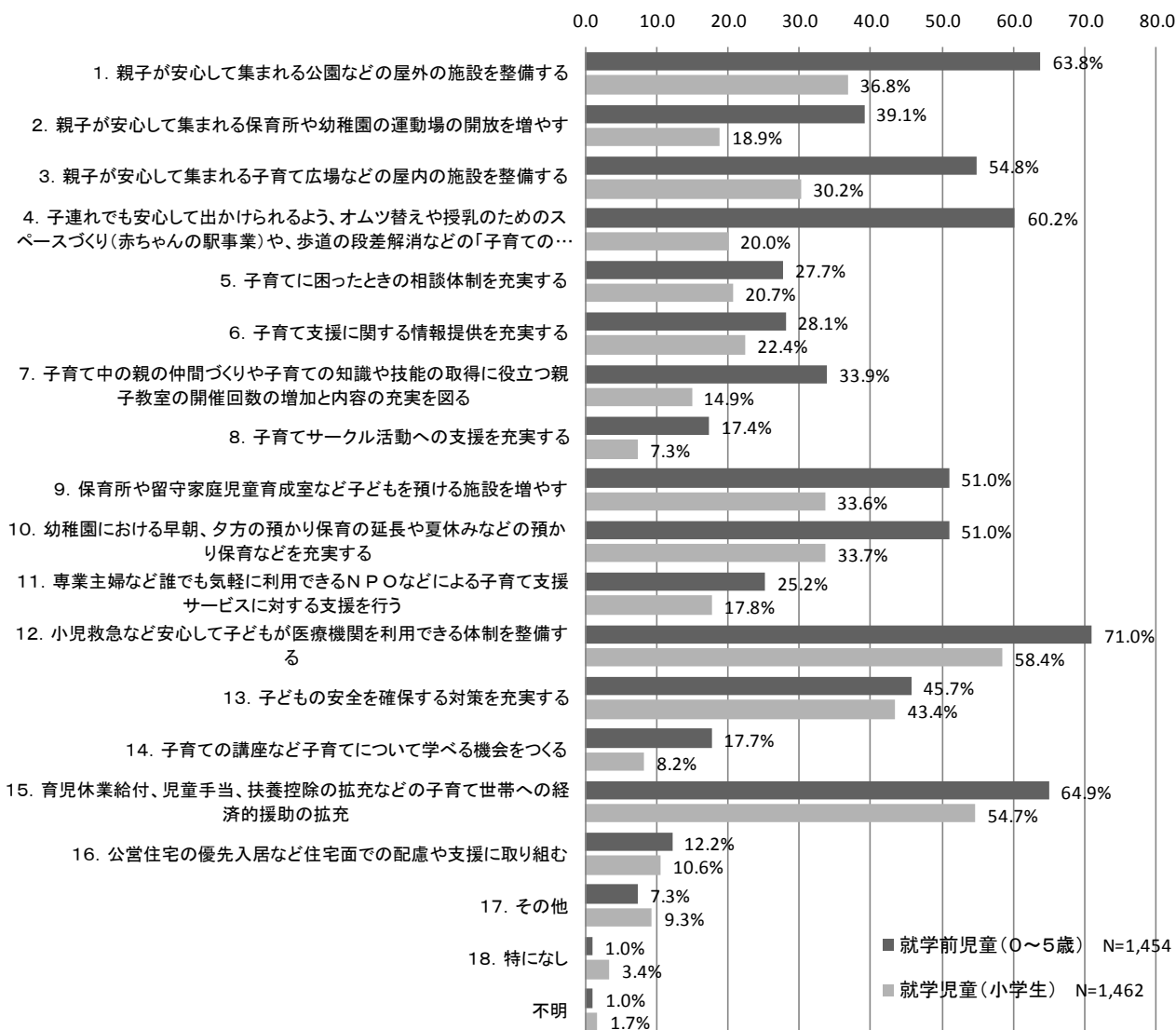
(2) ご自身に関すること



◆就学前児童（0～5歳）では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が43.7%と最も多く、就学児童（小学生）では、「子育てにかかる出費がかさむこと」が38.4%と最も多くなっている。

13. 市への要望

問、吹田市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。※複数回答



◆就学前児童(0~5歳)、就学児童(小学生)ともに「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が最も多く、次に「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が多くなっている。